## 

## 爱俄整理進 小部分を残し

明春二月迄には おそくも開業の運び

町有地

村外六夕村だけで、他はまの後の整理進ちよくし更生下町村の態度も玉川、大野郡の郷村當局でも同行のそ策委員會の成業に對する郡 破産で 申請した石城 決定であるため大藏省當局|に向つて有利に展開してあり。 努めてゐるが公金預金の對のを てゐるので同行では行員を了することを得るものと豫 らよくし一方整理案に對す|金貯金關係が圓滿に解决す 理を進めてゐる平町醬城銀村も年内には大體その態度 單獨開業の一路に向つて整が平町を始め那下各關係町 本認申請も年内には殆んと **督して殘分の調印を求め** 行はその後の整理に漸次進を決定するらしい狀勢で公 る預金者の 調印も 對して整理案並 - 復活の る狀態を見て大體この破産 大半蒐集され | 想されてゐる、尙旣に同行||百三十六坪九合の處分に關|した 旬までには全部の手續きを れば、 おそくも來春二月初 i i

## 别 Company Company Commany 分離 區增設

愈々

見ら

れてゐる

してゐる

申請を取下げることに決定

今日の町會で漸く決定

の如く二十日件を附議决定したが行政區 町はこれで二十六區

追加件 | 會を招集、行政區階設の件と合併して一區をなしてゐ |午後一時から本年棹尾の町| 専設は從來月見町は新川町 町有地 處分の件外數人本家具店工場等の工場等 たものを月見町に片倉製糸

> して來た關係から 行政區獨立を計つた 新設され あ 町は二十六屆となった譯 のであるがこれによつて 住宅も漸く櫛比

> > 10

特 今日の町會で 賣决 願人百澤氏に 处

既報中町四町目百澤易興氏 地一部十、五町目町有地五 平商校敷一部並に水道課敷 特賣を願出た町有地元 三万四千三百三十七圓を以 にはかつた結果満場一致で て同氏に賣却する事に决定 して町當局では今日の町會

明日は午後から晴れで

明後廿二日は終日晴れ

其の後の事は保證出來ねど

小磯所長苦笑して語る

十一日は午前中は曇り

平局正午迄の

年質は昨年に | 度三ツーの一千通 緊縮は正 に右の通りに御座候 }

> か全く見當がつかず殆ん と閉口の体、 勞働者と言

何時になつたら晴れるの

れた事のない今日此の頃一日として、からりと晴

窓口で扱つた敷がタッタ 縮がごの程度に年賀郵便 約二萬通の滅であるとの千通、昨年に比し同時刻 便の取扱を開始したが緊 に伺つて見ると正午迄に て見ておる事であるが、 に影響してゐるか、局員 平郵便局では屢報の如く 正午平局の年賀郵便係り 外の者でも興味を以つ 日 から年賀郵 二三割は減ずるものと見 で局負も豫想通り今年 定の出來ぬ事質らしいの 準や基準にして全部を観 てゐると云ふ事は全然否 ろ ~ 緊縮の崇りを受け 察する譯にはい ても先ずここら邊からそ かっ る と し

平町南町

二三日前の氣違ひ陽氣の は一層甚だしい、例へば

磐城海岸軌道

如く觀測は見事に裏切ら

明二石城郡小名濱町磐城海岸

社内の大改革

今年の陽氣程變調なるの|ことゝなり十八日督促

はない殊に今冬に至つて

を發し

12

苦笑し乍らそれは困ると百十人合計八千九百八十五

圓三十一錢のせい理をなす

**冐頭して語る** 

何つて見たら小磯所長も

税その他の諸税滯納者千九

のため従業員十二名の馘首

天候の保證をして吳れと|別税戸

數割、

營業稅、雜

町當

て二三日位でもよいから ので小名濱測候所にせめ らすより外にすべがない の一角を仰いで嘆息をも はず、勤人と言はず。天

然しこの數字を

金にもなら ゥ

「どうせ歸りなんだらう つくり行かうぢやねえ 0 片濱

I CONTROLLED TO SELECT AND SELECT AND SELECT AND SELECT AND SERVICES. よいことにこの頃らあ年 るんだ、大ていつかれる 路を中から江名へ往復す 何しろ雨あがりのこの道 からつかれつちやつた、 「今朝一番方で出たんだ つて早く寝るんだよ、

くならうしなあ」 末で客は多いし 「だがそれだけ養計 し常の倍骨が

魚箱はの

二百二十人、大變だなあ郷村字御臺境の坂下地へ

十九日午後十時頃石城郡內

身兀不明の轢死体

百二十人、ほう、助手も

臺そのうちトラックが七 けで自動車の敷が百七十

松ケ岡下に

十臺、ふむ、運轉手が二

俺なんざ助手だからうめ から同じこつたよことに 等のふところもふくれる つかるしおまけに道が悪 「だめだよ俺たち月給だ んだらうのボーナスも名 折れるせ お前

位なんだい」

圓位だ、たがこの頃は 高い世向ふぶらで月七 かねえよ **争が激しいんでうまく** らかの手當がつくぐら 食つて月六十圓にい

大將運轉手の月給はど ならねえ給金だとして だが年玉のお前が問題に どうだいそつちの一本 客敷が違ふから全部月給 おいらは主人のとこ 言ふのかそれもそう 程車のよしあしで Ø). 0

景氣知らずだ。ナニ平だはないらしい

「ふうむ然しいえ値だな」には不穏の空氣も見へな 向ふぶちで七十圓は不 から問題の惹起する如き

. L>

注目ざれてゐるが従業者間

ネー

3

貨物自動車はもつ たまげたなあ、ウーム 京、横濱にも行く、ほう え、隨分多い様だなあ、 爭も起るのけだ、然しト|はね飛ばされて虫の息となかる縣下第一、うむ、競|二十四五歳位の男が列車に車が尠なけりやもつと儲道線路側に住所不詳の年齢 何トラックが若松にも東 ラックが七十臺もあるけ一つてゐるのを通行人が發見

可被加強用當川南川年DI含川南川雄川地川南川 は朝から晴れの見込であ 後から晴れ明後二十二日 るかこれは受け合つても

人員千九百名に達す 四納八千圓 局も手を焼く 後はごう變調するか保證|き調査中であるがかい中に大丈夫である、然しその|ら係官急行身元その他につ ではないものと見られてゐれたものらしく覺悟の自殺に解の結果誤つて列車に觸 一見自動車の運轉手らしくを所持してゐるのでこれをを所持してゐるのでこれを は千葉縣長生郡茂原村内山

非常召集 署の

|合狀||なつたが同社は今夏小野晋||十九日午後十一時發令管内なす||三日中に正式發表する事と|| 半署では歳末取締りのため 月中從業員十餘名をせい理|の結果窃盜現行犯 | 件をは 内の改革の努め既に去る九の特別警かいをなしたが其中氏を社長に迎へて以來計巡査の非常召集を行ひ平町 整理を决行する事と决定二 今曉平町を警戒

年賀狀印刷 特に大强勉

電 話八五二番

九山印刷所

中署に急報したので中署か

|中町では今年度前期分の特||道會社では十七日午後一時 種から重役會を招集事業整理

一菱表に對しては各方面からきに達し好成績であつた してあるので第二次の馘首|じめ注意説諭等八十件の多

でやかなも服冬非是 獎がて持を信自とらなレコ

●各學校制定ボダンハ 分申に共縫裁地生る來出め すで服倉小黑いな (付ンボツ長)用生學小 發十八圓一 用歲八七 號一 錢○○圓二 用歲九八 號二 錢○二圓二 用歲十九 號三 緩十四圓二 用歲三二 號四 錢○六圓二 用歲三三 號五 十五錢高

用 生 錢十二圓四 生年二一 號六 錢十四圓四 生年三二 號七 錢十六圓四 生年四三 號八 錢十八圓四 生年五四 號九

刊夕

H

0

四

十九)

氏

婚禮用品各

病共

院濟

各

問

貸切自動車

(/)

御用命

タクシ

局級車で悪心地の

和タク

電話は

サ シ M i 新

訪問

外產 耳鼻咽喉科 生試 婦 光 驗所 人 科 醫學博 醫學博 醫學博 醫學博 醫學博 醫 學 博 藥技 技 醫學博 學 士師 士 師士 士 士士 士 士 士士 吉小中工難中難桂氏松渡井 部上 家 俊 波重 波 枝 孝英林慶 憲 林 次

本本院醫事 法 (共産 所) (共濟病院 忠 内) 治蕃平夫藏造睦藏睦次介茂助郎

評美 判味

御

知

らせ

ワト食堂が

田町松月堂隣へ

フキサ

既度皆様の御後援を受けまして

Suppliers. 話 Section 1 番 S. Target

田

にょりをかけて御待ちして居ります
ドーゾ御運びを東都一流のパーテンダーが腕
を前の通り清素で氣持ょい客間で御座います

別府温泉より生れた

轻 圓

價

高病に震効ある別府鑛水 定價一 圓

中學外套も十月中旬

より賣出

します

E

認圖

三〇五

服

Æ

約特店

藝晨消毒藥種 山野邊東次郎 H

藥劑師